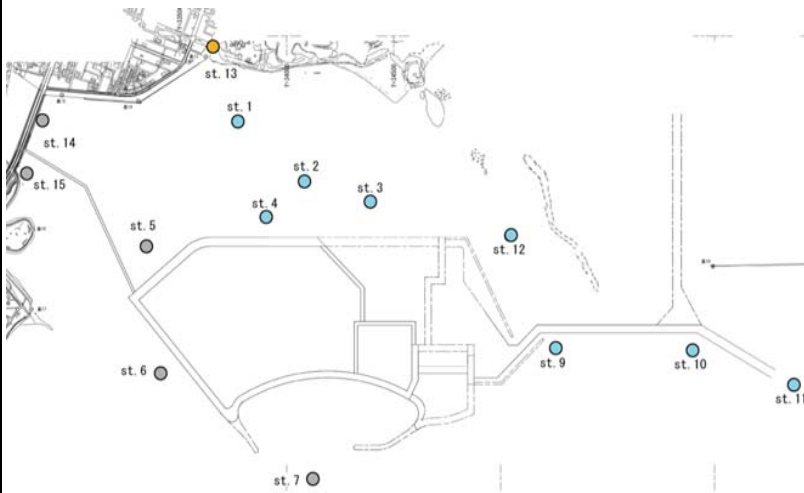


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	全ての地点において監視基準値の超過はみられなかった(測定回数st.1～st.12:25回、st.13:26回)。 クビレミドロ監視地点での最大値は2月14日のst.1で2.0mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は2月17日のst.9で2.1mg/Lであった。		今月の県施工事は、橋梁/仮橋工事、鋼管引抜き、鋼管杭撤去、閉塞工、杭橋脚撤去、汚濁防止膜移設等、養浜整備工事で、養浜砂(投入・均し)、汚濁防止膜撤去等、護岸/防波堤工事で、裏込材(投入・均し)、袋型根固工用袋材設置、上部コンクリート打設、汚濁防止膜撤去等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。		
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3:SS=7mg/L】	全ての地点で基準値(7mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、1.0～2.0mg/Lの範囲で推移していた。	今月の国施工事は、泊地浚渫工事で、浚渫等、護岸工事及び橋梁撤去工事で、橋梁上部・橋梁杭橋脚補強、PC覆工板設置、仮設高欄・PC覆工板・鋼製覆工板・橋梁上部・橋梁杭橋脚撤去、H鋼杭引抜き、捨石荒均し、袋型根固め工据付等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。	
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.0mg/L、1.0～2.1mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=13回(26計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=1回(26計測中) 平均値は14.1mg/L、2.3～54.8mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	2/23の54.8mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.5mm、当日51.0mmであった。		
基準超過時の気象概況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 		
基準超過時の工事状況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。				







第11回(2月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和4年2月1日～令和4年2月28日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観 察 結 果	<p>調査地点の最高値は2月18日(AM)のst.5で観測された9.8mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調 査 結 果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.6mg/L、&lt;1.0～9.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=26計測中12回 st.15=26計測中6回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=26計測中2回 st.15=26計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14:2/3 (AM 下げ潮時)107mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が20.0mm、当日が88.0mmであった。降雨による濁水が見られた。 st.15:2/3 (AM 下げ潮時)44mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が20.0mm、当日が88.0mmであった。降雨による濁水が見られた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>	<p>【調査位置図】</p> 		
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			



